

## 施設園芸用炭酸ガス供給装置をモンゴルへ

### －農業生産性の向上による収穫量 UP へ－

国際協力機構（JICA）は8月23日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査（中小企業支援型）」において株式会社桂精機製作所（神奈川県横浜市、丸茂 等代表取締役）が提案する「営農促進機器を活用した持続可能な農業生産性向上のための案件調査（仮称）」（モンゴル国）を採択しました。

モンゴル国では、鉱物資源分野への経済依存度が極端に高く、産業の多角化が必要とされています。また農業分野に関し、野菜・果物の自給率が低く安全性の低い輸入品に大きく依存しており、自給率の向上が課題とされています。

提案製品の施設園芸用炭酸ガス供給装置は、ハウス栽培において、LP ガスから発生させた炭酸ガスを、二酸化炭素が不足する閉め切ったハウス内の野菜・果物に、光合成が活発な時間帯に適量供給します。これにより農作物の生育期間の短縮、収穫量アップ、品質向上が見込まれます。また他社の LP ガス式の施設園芸用炭酸ガス供給装置と比較し、提案製品は、シンプルな構造のため、製品価格が安く、製品の維持管理が容易で、耐久性も高いため、イニシャルコスト・ランニングコスト共に安くできます。



施設園芸用炭酸ガス供給装置



NAEC 所有のグリーンハウス

今回の調査では、首都ウランバートル郊外にあるモンゴル国立生命科学大学（MULS）、食糧農牧業軽工業省（MOFALI）、国家農牧業普及センター（NAEC）等と協力して情報収集を行う予定です。

本事業は、「案件化調査（中小企業支援型）」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発課題と日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたものです。2012 年

度から実施されており、2019年度第一回分は本年4月に公示を行い、46件が採択されました。  
今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：(プレスリリース) 案件化調査 2019年度第一回公示の採択結果について

[https://www.jica.go.jp/press/2019/ku57pq00002lc2ll-att/ankenka\(chusyo\).pdf](https://www.jica.go.jp/press/2019/ku57pq00002lc2ll-att/ankenka(chusyo).pdf)

<b>【本件に関する問い合わせ先】</b>	日本の元気を世界の元気に 世界の元気を日本の元気に JICA 横浜ウェブサイト <a href="https://www.jica.go.jp/yokohama/index.html">https://www.jica.go.jp/yokohama/index.html</a>
JICA 横浜 総務課：中小企業支援担当 池上、増田、菊池 TEL:045-663-3252 Fax 045-663-3265 e-mail: yictad@jica.go.jp	